

(その1)

教 員 の 個 人 調 書

履 歴 書			
フリ 氏 名		男・女	本籍地又は 国籍
生年月日(年 齢)	(2002年1月15日 現在の年齢)	現住所	
学 歴			
年 月 (西暦)	事 項		
年 月	大学入学からの学歴		
職 歴			
年 月	事 項		
年 月	非常勤講師等の職歴について、兼職の承認を受けたもの		

(その2 1)

学会、社会教育及び社会における活動	
年 月	事 項
	<p>教育・研究・社会活動に関する自己紹介が趣旨：以下の項目について自由にえらんで記載し複数頁にわたっても可。事例が多数にわたる場合、代表的なものを記載</p> <p>(1) 学会における活動</p> <ul style="list-style-type: none">・所属学会名・国内外における学会の招待講演あるいは研究発表（代表的なもの10件以内）・学会賞などの受賞歴（賞罰欄と重複しても構わない）・学会誌編集委員、学会誌の審査員、主要学会の組織委員、幹事、座長（特に若手教員）などの活動 <p>(2) 研究成果の発表状況</p> <ul style="list-style-type: none">・各教員のこれまでの研究経歴における代表的な論文や著書名を記載（3～5編以内で書式は科研費の申請書のフォーマットに準ずる） <p>(3) 競争的資金の獲得状況（最近10年間程度、申請種目、題名、代表、分担の別を記載）</p> <ul style="list-style-type: none">・科研費の取得状況・その他省庁、及び民間の助成団体からの科研費の取得状況 <p>(4) 研究者育成等人材育成に関する活動（過去10年間）</p> <ul style="list-style-type: none">・修士（理学）の授与者数（主査・副査となった件数）・博士（理学）の授与者数（主査・副査となった件数）・大学院留学生、日本学術振興会DC、PD、民間企業や研究機関からの客員研究員等の受け入れ状況 <p>(5) 社会教育における活動</p> <ul style="list-style-type: none">・インターネット講座、市民公開講座などの生涯学習に関する活動・高校等への出前授業等、初中等教育機関との交流実績・入試説明会、大学説明会等への協力貢献 <p>(6) 社会における活動</p> <ul style="list-style-type: none">・省庁や自治体のコンサルタントや政策に関わる委員等の活動実績 <p>(7) 産業界との連携</p> <ul style="list-style-type: none">・産官学連携の一環としての共同研究の受け入れ状況・特許の出願状況（件数を記載）・民間からの奨励寄付金、受託研究、共同研究の受け入れ状況（件数を記載） <p>(8) その他特記事項 （例えば、放射線や危険物取り扱いでの学内外での貢献等）</p>

(その3)

賞 罰								
年 月	事 項							
年 月								
職務の状況								
勤 務 先	職名	学部、学科等(所属部署)の名称	担当授業科目名	毎週担当授業時間数				備考
				専任	兼任	兼任	計	
大阪市立大学		理学部						
		大学院理学研究科						
平成 年 月 日								
上記のとおり相違ありません。								
氏名 印								

(その4)

最近5年間の研究活動概要

この欄は、最近5年間の研究に対する、自己評価を目的とします。代表的な研究業績5編以内について以下のように記載してください。1頁以内にまとめてください

1. x x x xに関する研究：100～250字程度で論文の要旨を記載してください。説明の末尾に次ページに記載される業績番号（業績番号x x x）を記してください。

上記の業績に対する貢献内容をお書きください。また、上記の業績について、新聞報道や特許出願等の特記事項があればこの欄に記載してください。

(その5 1)

最近5年間の研究業績一覧

最近5年間に発表した研究論文、著書、総説等すべて記載してください。要領は科研費申請の研究業績欄のフォーマットに準じてください。前ページに記載した代表的論文5編について番号に丸印をつけてください。また、この5編について、最初のページのコピーを添付してください。

特許出願についても記載してください。

複数ページにわたってもかまいません。